

1

【御名をかかけて】

G C2 D C C/D

御名をかかけて

G C2 D C

あなたをたたえます

G C2 D C C/D

救いのために

G C2 D C/D D

あなたは来られた

G C D C G

救いの道を 与えに

C D C G

天より下り 来られた

Am7 D Em7 Am7

十字架により 命あがない

D G

よみがえられた

【イエス様ふれてください】

G D/F# C/E G/D

イエス様 ふれてください

C G/B F D7

み前に近づく わたしに

G D/F# C/E G/D

イエス様 ふれてください

C D7 G

その御手の中で

C D G C D Em

声をあげて あなたをたたえます

C D G Em

すべてのすべて あなたを

Am D7 G

求め続けます

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

すべてのことに感謝する時間です

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

3. 個人的な願いの祈り

私たちの日常の必要を満たしてくださる神様に
どんな願い事も祈ることができます。

4. とりなしの祈り

・コロナの完全終息のためにお祈りしましょう。

・瀬戸カルバリーチャペルの礼拝のため

・地域の方々に主の平安が届きますように

・牧師家族のため・キッズ・次世代のため

・家族・親族・友人知人・ご近所の方のために

・病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため

・大雨など災害で苦しんでおられる方々のために。



Follow me

わたしに従ってきなさい

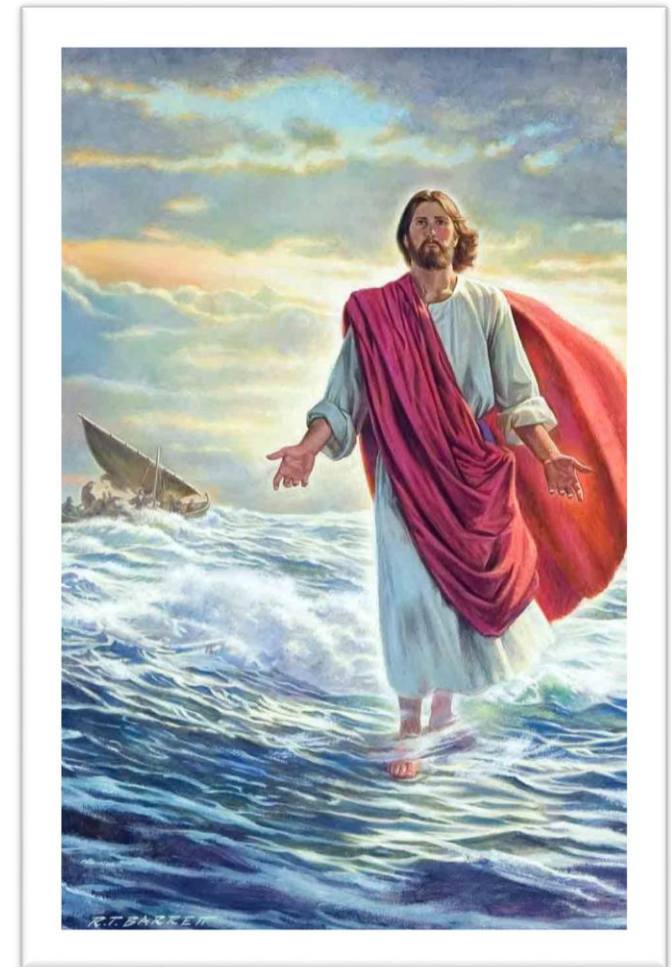
イエス様の招きは、嵐の海を歩く奇跡を体験したものの、目をそらしたために沈んでしまった、「海の中」にも語られている言葉です。つまり、不信仰や罪のゆえに、沈んでしまう時こそ、イエス様は「招いて」おられるのです。左の美しい絵はそれを見事に描いています。

瀬戸カルバリーチャペル

×Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:018 瀬戸カルバリーチャペル

絵: Jesus walking on water

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ペテロの第一の手紙2章3～9節

2:3 あなたがたは、主が恵み深いかたであることを、すでに味わい知ったはずである。

2:4 主は、人には捨てられたが、神にとっては選ばれた尊い生ける石である。

2:5 この主のみもとにきて、あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によろこばれる霊のいけにえを、ささげなさい。

2:6 聖書にこう書いてある、「見よ、わたしはシオンに、選ばれた尊い石、隅のかしら石を置く。それにより頼む者は、決して、失望に終ることがない」。

2:7 この石は、より頼んでいるあなたがたには尊いものであるが、不信仰な人々には「家造りらの捨てた石で、隅のかしら石となったもの」、

2:8 また「つまずきの石、妨げの岩」である。しかし、彼らがつまずくのは、御言に従わないからであって、彼らは、実は、そうなるように定められていたのである。

2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

3 黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

質問

Q1. 2章3節で、ペテロはクリスチャンたちに、すでに皆さんは「主が恵み深い方」であると味わい知っているはずですよと書いています。

あなたの体験を書いてみてください。

Q2. 主が「恵み深い」とはどのような意味でしょう。

Q3. 「隅のかしら石」であるイエス様につまずかないためには何に気がつけたら良いでしょう。(8節)

Q4. 神様はなぜ「あなた」を選ばれたのでしょうか。

4 みことばの解説

福音書に描かれるペテロの性格分析をするならば、「浮き沈みの激しい」「アップダウンの顕著な」と称されるでしょうか。文字通り、嵐のガリラヤ湖に沈む経験もしました。だからこそ、人生の堅固な礎を必要としていました。それが「選ばれた尊い生ける石」「隅のかしら石(コーナー・ストーン)」であるイエス様でした。2章6節は、イザヤ書28章16節の引用ですが、イエス様により頼む者は、決して失望に終わることはない(慌てることはない)と約束されています。今日の聖書箇所には描かれている2つの大きなメッセージは、

(1) キリストこそ選ばれた御方(4・6節)

(2) 私たちも選ばれた存在(9節)です。

ペテロの人生の礎(支え・土台)となったのは、神の選びでした。彼の信仰、彼の能力、彼の経験ではなく、キリストが「私についてきなさい」と招かれたからであり、キリストが「あなたは岩(ペテロ)である」と呼ばれたからであり、キリストが「私の羊を養いなさい」と命じられたから、彼はその生涯の使命をまっとうしました。

イエスがキリストであると告白し、この方に信頼して日々を歩みましょう。キリストのことばは「あなた」にも語られています。それに耳を傾け、信じて従うならば、決して失望には終わりません(6・8節)。そして、神の選びが「私たち」にも及んでいる幸いを感謝しましょう。私たちは、「聖なる国民」「神につける民」であり、暗闇から驚くべきみ光に招き入れて頂いたのです。

「私の臨在には平安と喜びが豊かにあるが、それらをあなたの内なる人にしみ込ませるには時間がかかる。そこにはまた信頼も必要である。あなたの計画が妨げられるときは、ガタガタ騒いだり腹を立てて毒気を吐いたりする代わりに、耐え忍んで私が働くのを待ちなさい。あなたが望むほど早く答えは来ないかもしれないが、私は常に、あなたの祈りに最善の方法で応答するからだ。」 サラヤング著・私はいつもあなたと共に